



出前講座に伺います

～聴覚に障害のある利用者との意思疎通のために～



対象：横浜市内の福祉団体・支援者・民生委員・児童委員向けの地域学習会、勉強会など

定員：2～3名程度の少人数からでも、対応いたします。

開催時期：随時（月～金曜日 9時～17時、60～90分程度）

講座内容：①聴覚に障害のある利用者との効果的な関わり方

②聴覚に障害のある利用者との意思疎通のコツ

③実践で使える手話を学んで利用者との距離を縮めたい etc.



講師：聴覚障害者情報提供施設 聴覚障害支援員(聞こえない職員・聞こえる職員)

費用：無料 ※但し、職員研修等に活用される場合は、費用をご負担頂く場合があります。ご相談ください

申込の流れ：①申込書（様式②）にご記入の上、FAX か Eメールに添付または郵便にてお送りください。

②担当者から講師派遣の可否、日程等ご連絡いたします。

③会場の確保、事前打ち合わせ、当日の会場準備をお願いします。

☆ご質問などございましたら、遠慮なくお問い合わせください

※Zoomによるオンラインでの出前講座をご希望の方はご相談ください

聞こえない利用者との行き違い

対応で配慮すべきこと、日常の支援の中で起こるちょっとした行き違いの理由などを、聴覚障害者を取りまく社会的背景を踏まえお話しします。
また、伝わりやすい筆談の方法、コミュニケーションの工夫やアイデアも一緒に考えます。

支援者が集まるときに

サービス担当者会議など支援者が集まる機会に。
施設内のケア会議時に。
2～3名からでも対応します。

聴覚に障害を持っている
地域住民とどのように
関わったらよいか、
日々の活動の中での
お悩みなどを解決する
ための手助けをします。

手話について

手話は地域や年齢によって少しずつ違います。基本の手話表現はもちろん、利用者ご本人がよく使う手話や、介護、福祉の現場でよく使う手話などをお教えします。
「こんな手話を覚えたい」というご要望にも事前にお伝えいただければ対応いたします。

加齢による難聴への対応

加齢性難聴に特化した（専門的な）お話もできます。



参加者の感想

- ✧ 固定観念や当たり前と思っていることが通じないなど気づきが多かった。
- ✧ 当事者が講師となるレクチャーは説得力があった。
- ✧ 具体例も示して頂き、今後の対応に役立てたい。
- ✧ 筆談にも書き方の工夫が必要だという認識がなかったので勉強になった。

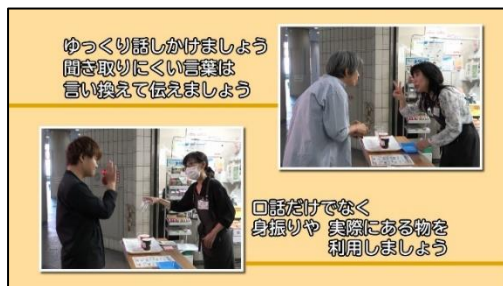


出前講座の様子（ヘルパー事業所）



ペアワークの様子（区役所）

『聴覚障害理解のための啓発 DVD』 ～聞えないってどんなこと～



内容①「聞こえないこと」によって起こるいくつかの場面を寸劇形式で表現

内容②聞こえ方や生育歴の違う当事者に対するインタビューとその家族5人の語り

『加齢性(老人性)難聴について』 ～専門的なお話もできます～

「補聴器をつけているのになぜ聞こえないの？」
難聴はご本人では気づきにくいもの。
ご家族や支援者からの働きかけも
大切です。聞こえに関する
基礎知識などの支援者向けの
講座も実施しています。



「聞こえの相談」も行っています。

聞こえに関するいろいろなお困りごとのご相談を横浜ラポールにてお受けしています。※予約制です。

お問い合わせ先



普及・啓発
メールアドレス

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設 普及・啓発事業担当

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752

電話：045-475-2057 ファックス：045-475-2059

メール：rapo-keihatsu@yokohama-rf.jp

